ひと・くらし・みらい AKARUISHAKAI

明るい社会

No.701

北のまちから あったかハート
ほっとちゃん
北海道内社会福祉協議会イメージキャラクター

道社協Facebook

じぶんの町を良くするしくみ。
赤い羽根共同募金
ここにも役立てられています

1
2024年度

目次

特集「農業と福祉の連携
～障がい者の社会参加を農業現場を通して実現へ～」 2
道内福祉施設・事業所・団体紹介「はぁとステーション」 6
共同募金会からのお知らせ 7
「ほっとチャンネル」①市民活動団体の取り組み 8
「ほっとチャンネル」②社会福祉協議会の取り組み 9
寄付・寄贈のご報告 10
授産製品紹介「きらきらマルシェ」 11

特集

農業と福祉の連携

～障がい者の社会参加を農業現場を通して実現へ～

障がい者の社会参加を実現する一つの形として、農業現場において就労の場を確保する農福連携の取り組みが注目されています。袋詰め、選別作業など作業を細分化させやすいこともあり、作業内容を障がい者の適正にあわせることができることから就労機会には適していると言われていますが、農業連携をさらに拡大していくには促進していく仕組みづくりが求められています。そこで、今号では農福連携の現状等を紹介するとともに、福祉側、農家側から見た事例を紹介します。

これから始める方にはこれ！

農福連携の現状と今後の展望

酪農学園大学循環農学類　義平 大樹 教授

1 農福連携とは

農福連携とは、「担い手の高齢化と減少が進む農業分野と、障害者や高齢者らの働く場の確保を求める福祉分野が連携すること（朝日新聞）」です。農福連携に取組む主体数（全体に占る割合）は、JAを含めた農業経営体が3，399件（0・4％）、A型事業所が703件（16％）、B型事業所が3，017件（19％）、特例子会社が60件（10％）です（農水省R5年調査）。さらに、今後のビジョンとして、2030年度末までに取組み件数を倍増の12，000以上とし、地域協議会に参加する市町村数を200以上とする目標が出され、ますます普及する情勢にあります。

2 なぜ農福連携の件数が増加しているのか

（千葉大 吉田行徳先生 Webセミナー資料参照を改変）

(1) 障がい者からみた農福連携の効果

①農産物を生産する過程が分かりやすく、仕事の意味を実感できる。また、農産物の成長や収穫の喜びを体感でき、自己肯定感の醸成につながる。

②体力がつき、ストレスが発散される、自然とふれあえ、内職的な作業では得られない効果を享受できる。後天的な身体障がい者のリハビリ、知的障がい者の生活の安定、認知症高齢者への療法としての効果がある。

③農作業は、分解して切り分けられるため、障がい特性に合った作業を見つけやすく、補助具の導入等の工夫で、障害者も作業ができる。

(2) 障害福祉サービス事業所（以下、事業所）からみた背景

①障がい者(約964万人)のうち、就業できている人は約93万人と少なく、就業できていない人達が潜在的に多く存在する。

②安価な労働力を求めた工場が海外移転する情勢にあり、新たな就業場所として、人手不足の農業者の作業の手伝いや、引受け手のない農地を取得し農業を実施し、障害者の仕事を増やす事業所が増加している。

③就労系の障害福祉サービスを受けている障がい者は下請け作業が多く賃金・工賃が低いため、農業者からの作業請負や自主事業として農業を実施し収益を向上させようとする事業所が増加している。

(3) 農業者からみた背景

①農業者が後継者を確保できず高齢化により、基幹的農業従事者の平均年齢は68歳まで上がり、その数も10年間で34％も減少している。また、耕作放棄地は20年前の2倍近くに増え、全国で富山県と同面積になっている。このため、事業所に対し、農地の担い手としての期待が高まっている。

②農繁期の人手不足が深刻化し、担い手として障がい者に対する期待が高まっている。

(4) 企業からみた背景

①障害者の法定雇用率（2024年現在2・5％）の達成のため、特例子会社（雇用した障害者は親会社の障害者雇用の実績とできる）の設置数が大企業を中心に増加している。しかし、達成企業は半数以下に過ぎず、農業分野に進出する特例子会社が増加している。

3 参入主体からみた農福連携の取組パターン

以下の5つがあり【図1】、取組の拡大にともない多様化しています。

①連携型：事業所が、作業請負の形で障がい者に職員が同行して農業者の農作業を手伝う動き

②福祉主体参入型：事業所が自ら農業を行ったり、農業法人を別途立上げ併設させる動き

③**農業主体参入型**：農業法人が障がい者を雇用したり、事業所を別途立上げ併設させる動き

④**企業主体型**：企業が子会社を設置して農業分野で障害者就労の場を確保する動き

⑤**園芸療法型**：病院やNPO法人等が障がい者に農作業に取組んでもらい、身体や精神の状態を良くしていこうとする園芸療法の取組み

4 北海道の農福連携

(1) 取組み件数と、都府県と比べた時の有利性と不利な点

北海道でも過去に1度でも農福連携に取組んだ主体は、560に達しています（2022年2月）。

都府県と比べた時の有利な点として、農業主体の経営規模が大きく収益面から障がい者の受入余地が大きいということです。農業大国北海道のイメージが良く、農業技術を習得すれば、生産物やその加工品の販路が比較的容易であるという点があげられます。一方、積雪にともなう農閑期も長いため加工作業や加温ハウスでの周年栽培、畜産など年間を通して農作業を継続するうえでの特別な施設が必要であり、その初期投資がかかるという課題があります。さらに、広大な北海道においては農業側と福祉側が出会うチャンスが、特に地方では少ないことから両者をマッチングする中間支援組織の構築が重要と考えています。

(2) 振興局別、地域別の取組み件数と農福実施率

北海道の取組み件数は、福祉事業所の多い振興局ほど多いです。札幌市周辺地区を含む石狩振興局が最も多く、都市近郊の野菜栽培地域で成立しやすいと言えます。しかし、農福連携に取組みが可能なA型、B型、就労移行、生活介護事業所の総数に占める農福連携の取組み件数の割合、すなわち、農福実施率は、石狩を除く道央が22％と最も高く、道東および道南、道北の15％前後で、石狩振興局が9％と最も低いです。

さらに市町村単位でみると、旭川市、帯広市、恵庭市、函館市周辺地域では取組み件数が多く、これら地域には農業サイドと福祉サイドを結ぶ中間支援組織（農福連携協議会など）が両者のマッチングを活発に行っています。

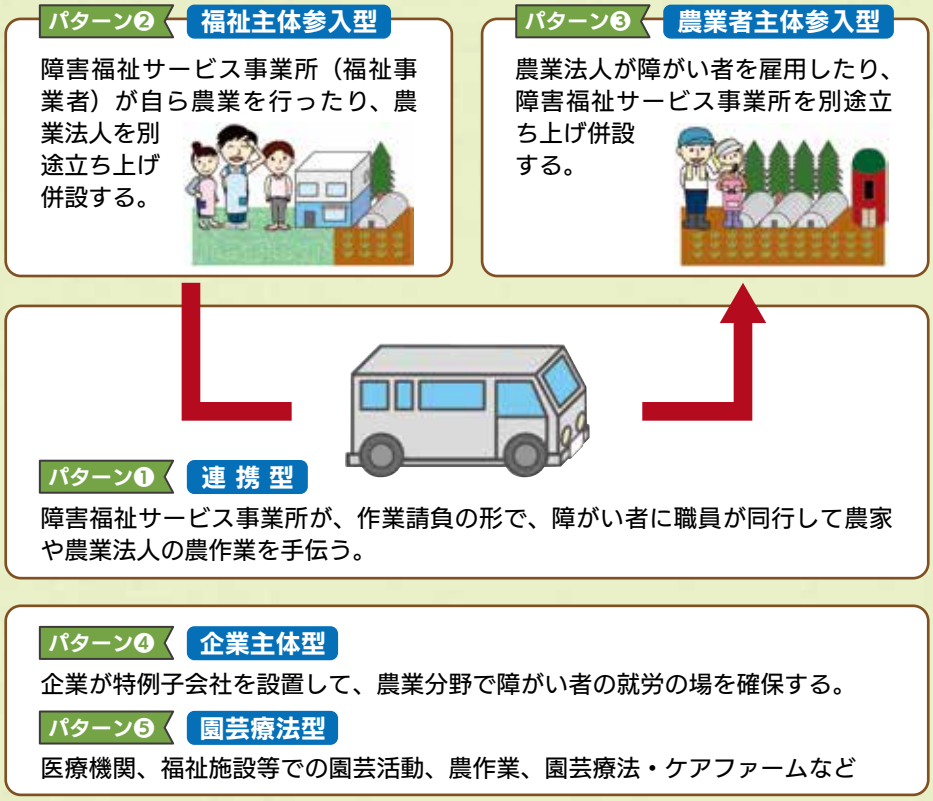
5 取組みをさらに拡大させていくには

北海道全体で農福連携の取組をさらに拡大させていくには、第一に、都市近郊の野菜地帯における市町村やJAの管轄地域を超えた広域連携の促進。第二に、JAや行政を中心とした農業と福祉を結ぶ中間支援組織の結成とその活性化。第三に、事業者の農業参入の促進や機械化が進んだ農業経営が多い道東・道北地域における事業所のための農業技術支援の充実が重要であると考えられます。

6 三方良しの農福連携へのステップアップが重要

上述の取組みにより農福連携が進むことは、農業者と事業所双方にメリットがあり、Win-Win の関係の促進につながります。その一方で、障がい者ご本人は、心身両面の健康状態が良くなり、工賃も取組み前に比べて改善する例は少なくないものの、一定のままで経済的自立への道筋が見えない事例も少なくないのが現状です。件数の増加だけではなく、取組みの質の向上を目指し、農業サイドも福祉サイドも双方の営業努力により、障がい者ご本人の経済的自立の達成も目指す三方良しの農福連携へのステップアップが、切に求められています。

【図1】 農福連携の取組みパターン



図は、北海道総合研究調査会（HIT）資料を改変、説明文章は千葉大吉田行郷先生R4Webセミナー資料参照

農福連携 ～福祉側からみる～（士別市）

ノースリーフ合同会社　代表社員　橋本 憲幸

1 事業所について

私どもの事業所は旭川市より北に50キロに位置する士別市にあります。

士別市は農業が盛んで、先進的な農業の取組における未来農業の実践を行っていたり、羊の街としてサフォーク種の飼育も行っています。日本甜菜製糖工場も市内にあり、ビート由来の砂糖を使用した特産品もございます。

当事業所は２０１６年（平成28年）６月に開所しました。開所当時の利用者は５名からのスタートでした。当初より農業に関する仕事を利用者作業の中心にしており、有難いことに当初より1件の農家より作業委託をしていただきました。またＪＡより農産物を仕入れさせていただき、事業所内で野菜の販売も行っていました。

２年目より市内のＪＡ北ひびき（本所：士別市）選果場で行っていたブロッコリー選果作業工程の一つの【氷入れ】作業を施設外就労として行いました。

３年目にはＪＡ北はるか（本所：美深町）下川支所の麦乾燥調製施設内で刈り取りした麦の受入作業を施設外就労として行いました。

当事業所も現在９年目を迎えていますが、農家やＪＡでの作業も格段に増え、現状、２つのＪＡと7件の農家よりお仕事を頂いています。

それに伴い利用者の人数も増え、現在（令和6年8月）では23名の利用者が登録されています。

夏場の作業の中心はＪＡの選果施設となっています。

農福連携による施設外就労

時　期	連携先	作業内容
3月	JA	ビート育苗施設での作業
4月	農家	種もみ・種まき作業
4～6月	JA	アスパラの原料流し、結束、箱詰め作業
5月	農家	田植え（準備、苗はがし、田植え機、ポット洗いなど）作業
6～10月	JA	トマトの箱詰め、バンド掛け、封函機補充作業
6～8月	日甜	砂糖詰め替え作業
7～9月	JA	ネギ選別作業
7～10月	JA	ブロッコリーの発泡スチロールへの氷入れ作業
9～10月	JA	そばの麻袋はい積み、ミシン縫い作業
9～12月	JA	南瓜の原料流しや箱はい積み作業
9～2月	JA	玉ねぎの空箱作成機械設置や最終選別作業
10～12月	農家	かぼちゃ種子取り作業

2 農福連携を行うことでの効果について

・コミュニケーション能力の向上

事業所内にいると決まった方との関わりがほとんどになり、コミュニケーション力はつけることはできるが、関わる人の範囲は限定される。外に出ることで、事業所以外の方とお話したり、ともに作業を行うことができるので、結果的に色々な方と接し、コミュニケーション力の幅が広がる。人と関わることに対して自信が付き、性格が明るくなった方も実際におられました。

・基礎体力の向上

当事業所を利用される方には、長い間就労から離れていた方も多くおります。

農作業は単純な作業を繰り返すことが多いため、作業の理解が難しい方や、前職で自信を無くしてしまった方などでも比較的作業に入りやすいです。また体力に不安のある方は短時間から始めています。

仕事や、プライベートで悩みを抱えやすい方などは、考え事をして眠れなくなり体調を崩しやすい傾向にありますが、そういった方が農業系の体を動かす作業に入ることで、体が程よく疲れ、寝つきがよくなり、考え事自体が少なくなったと面談時にお話を聞きます。よりよい睡眠を得ることで、その方の生活リズムも整ってくると日中の作業にも集中することができ、そのことで作業をやれたという【達成感】が生まれ、結果的に基礎体力もついてきます。

・まとめ

農業系の作業は【考えて行う】より【体を動かして行う】ことが圧倒的に多いので、【体力】がつきますし、疲れてよりよい睡眠を得ることで【生活リズム】を整えることができます。事業所以外の方と関わることで、コミュニケーション力の向上も図ることができます。

3 今後の展望や期待

北海道の基幹産業は農業であるため、今後も私たち福祉側ができる事を行っていきたいと考えています。今まで行っていた施設外就労型の農福連携の他に、自社で農場を持ち、障がいを持たれた方の作業の選択肢を増やしていきたいと考えています。また、その中で農業の専門的な知識等を、高齢を理由に離農した農家さんに技術支援していただくことで、信頼関係を持つこともでき、地域との交流もより一層深めることができます。

農福連携はまだ大きく浸透はしていませんが、働き手が少なくなっている農業側と障がい者の作業の場の確保を求めている福祉側の双方にメリットのある取り組みだと感じます。農業側と福祉側がともに支え合っていければいいなと期待しています。

JA北ひびき士別

青果物選果施設（士別市）
ブロッコリー氷入れ作業

JA北はるか下川

フルーツトマト選別施設（下川町）
フルーツトマト仕分け作業

フルーツトマト選別施設（下川町）
フルーツトマト箱詰め作業

そば乾燥調製施設（下川町）
麻袋はい積み作業

農福連携 ～農家側からみる～（釧路市）

有限会社仁成ファーム　常務取締役　佐藤 昌芳

有限会社仁成ファームについて

設立は１９９２年８月20日で、今年32年目を迎えました。この間には、規模拡大による第二・第三牧場の増設がありました。牧場増設にともない人員確保が大きな課題となってきました。現在の飼養頭数は経産牛１，５００頭、育成牛１，０００頭です。会社の人員は社員・パート従業員含め約80名で搾乳作業、哺育・育成管理、飼料管理、牛群管理を担っています。

福祉との取り組み経緯

規模拡大にともない、作業労働の過重及び長時間化が大きな課題となってきました。人員の確保も行いましたが労働の過重の課題は残りました。

そこで、搾乳作業終了後の搾乳室の清掃作業の委託先を探しましたがなかなか見つかりません。福祉との出会いは、新聞記事で『農福連携で野菜収穫』という記事を目にしました。何もわからず次の日から福祉事業所巡りをおこないました。しかし、こちらの説明不足、突然の訪問、現場までの距離などなかなか思うようにはなりませんでした。そこで、市役所の福祉課に赴き、話を聞いてもらい現場での作業風景を見てもらう中で平成29年、現在の音羽協働センターの栂野代表に出会い請け負っていただけることになりました。

音羽協働センターとの取り決め事

作業は３６５日行い、こちらが希望する清潔度を確保することを代表と確認しました。料金設定はそれまでかかっていた人件費を作業時間、作業個数、作業範囲等で割り返し行い作業一つ一つの単価を設定しました。結果、それまで清掃作業にかかっていた従業員の労働力を他の作業に振り向けることができ、非常に良かったと感じています。

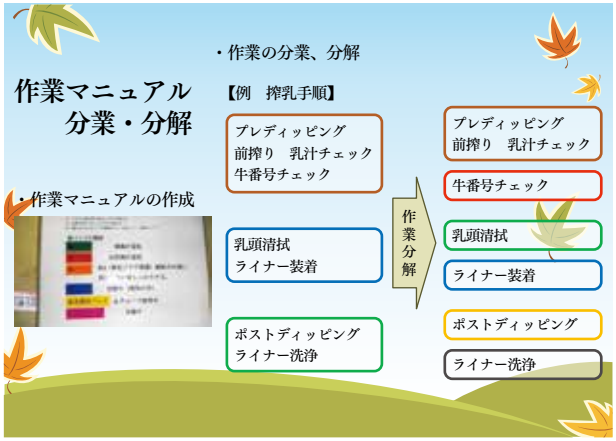
今年で８年目となりますが当初の清掃作業に加え、育成管理作業、搾乳作業も担ってもらっています。

作業を分ける、マニュアル化

一人の作業を分けることによって音羽協働センターに委託できるようにしました。例えば、搾乳作業の乳頭清拭やミルカー付け、育成舎のベッド掃除や蹄洗浄、哺育舎のペン清掃や水飲みバケツ洗浄などです。当初は作業を分けることが経営的に見て良いこととは思えず、抵抗感がありました。しかし、この取り組みによって作業の過重から解放され、集中力が上がり時間の余裕ができるようになりました。結果、作業の出来栄え、能率、効率が上がり課題であったことが解決できるようになっていきました。また、一連の作業をどこまで分けることが良いのかは状況により異なると思います。一人の作業を見直し、適正なのか負担になっているのかを検討することは必要なことだと感じています。

委託するにあたって、作業を明文化することが必要になりました。相手にわかりやすく、こちらの意図を理解し、確実に実行してもらううえで重要なことです。これには文章、写真、動画等を利用し作成しました。マニュアルにより作業の統一が図られるようになりました。マニュアルの修正は随時行っています。

このマニュアルは、新規採用者や海外研修生に対して作業内容を伝えるものとしても利用しています。



農福連携で得られたこと

福祉との連携で一つ一つの作業を見直すことができました。作業の順序、使用する道具などを再確認することができました。また、作業に伴う危険個所やリスクの把握、それを回避する方法なども考え、改善につながっています。

また、連携を通じて、一番の良かったことは社員教育の一つになったことです。障がいを抱えた方が作業に集中する姿を間近に見ることで自分の言動や他人に対する優しさなどがみられ牧場全体の雰囲気が変わり、作業場のトラブルも減り働きやすい環境が整備できたと感じています。

これから

福祉との連携がなければ、現在の姿にはなっていませんでした。当時のことを振り返ると福祉との出会いを求め、行動に移せたことが今につながっていると思います。現在は音羽協働センターに作業を委託することを前提に全体の組み立てを行っています。この関係がなくなることは考えられません。切っても切れない関係になっていると感じています。また、音羽協働センターで働いている方たちの中から当社の従業員となってくれた方もいます。働きやすい環境の整備が人材の確保につながるよう今後も努力していきたいと思います。

はぁと♥ステーション

道内の福祉施設・事業所・関係団体等の取り組みを毎回ご紹介します

社会福祉法人
釧路若草会
認定こども園
釧路共栄保育園

園長／真下　浩二

〒085-0036
釧路市若竹町4番7号
TEL 0154-22-4530

社会福祉法人釧路若草会認定こども園釧路共栄保育園は、平成23年に釧路市から民間移管を受けて開設された保育所型認定こども園です。当法人は市内に認定こども園を3施設、子育て支援センターを1施設運営し、地域福祉に根差した運営をしてきました。

「安心・安全・愛を育む」を法人基本方針とし、子ども達の個性と尊厳を尊重しながら、心身ともに健やかに育つよう、保育、教育等の子育て支援事業を実施しています。また特別支援保育、一時預かり保育、病後児保育等、子ども達とその保護者の多様なニーズに応える保育事業も実施しています。

施設の保育目標は「豊かな人間性、豊かな創造性をもった子どもを育成する」「ひとりひとりを大切にし、心を育む」としております。

その中でも「生きる力」を養う保育を大切にしています。様々な家庭環境の子ども達が利用する施設ですが、保育園生活の中で子ども達は色々な事を経験し、色々な力を身につけ、どんな環境にも負けない子ども達になってほしいとの思いがあります。

そんな園生活で成長した5歳児さんには特別プログラムがあります。毎年社会見学として釧路湿原を歩き、当たり前と思っていた環境に直面し、自然の大きさ凄さを考えます。また近郊の「野生生物保護センター」で保護活動を学び、現状と対峙し命の尊さや大切さを考えます。保育園では卒園式に「自立宣言」として将来何になりたいかを宣言します。子ども達は「動物のお医者さん」や「自然を守る人」「看護師さん」や「介護士さん」等たくさんの夢を語ります。色々な事を経験して、周りの自然や環境、人を想う事を覚え「生きる」という事や「命」という事を考え始めた子ども達が、将来どんな社会で、どんな人と繋がり、どんな世界を広げていくのか想像するだけで嬉しい気持ちになります。

現在保育を取り巻く状況は、人口減少や少子化等様々な問題に直面していますが、これからも社会の中での保育所の在り方を追求し、子ども達の成長を応援していきたいと思います。

知的 快適 創造的オフィス創りで地域に貢献する

サンコー事務機株式会社

お客様の変えたい・良くしたいを「カタチ」にするオフィス・施設の総合ディーラー

〒060-0013 札幌市中央区北 13 条西 18 丁目 36 番 90
TEL 011-614-2255（代表）FAX 011-614-5245　URL http://www.sancoh.gr.jp/

IS503035/JISQ27001:2006
当社は ISMS 認証企業です。

取扱品目
OA 機器全般の販売・レンタル 、オフィス関連商品の販売、プロバイダー事業、ＩＣＴ関連機器の販売、ネットワークシステムの構築、小冊子などの印刷を行うドキュメントサービス、情報システムの提案・導入・保守、基幹系業務（販売管理・給与計算・財務）等をはじめ、その他各業種業務用パッケージソフト提案・導入・保守、OA 機器の保守、点検、修理等、福祉機器関連商品の販売、NTT 商品取次、その他、オフィス・施設の環境をよりよくするための一切の事業

今年も10月1日からスタート！赤い羽根共同募金運動

今年も10月１日から全国一斉に78回目となる赤い羽根共同募金運動がはじまりました。

共同募金への寄付金は、さまざまな社会課題や地域課題の解決に向け取り組む団体の活動など、誰もが安心して暮らせるまちづくりのため、寄せられた地域内で役立てられているほか、地震や豪雨等による大規模災害時においては都道府県域を越えても役立てられ、災害直後から被災地の復旧・復興活動を大きく支える役割を担う「災害ボランティアセンター」の設置や運営など、即応的に助成を行うための資金としても共同募金の一部は活用されています。

今年も「じぶんの町を良くするしくみ。」である共同募金運動へ、皆さまのご協力をお願いいたします。

北海道での令和５年度共同募金総額について

令和５年度も北海道内外より、みなさまのあたたかい支援の気持ちとたくさんの募金が寄せられました。寄せられた募金は北海道内のさまざまな福祉活動に活用されます。ご協力誠にありがとうございました。

第77回赤い羽根共同募金運動 ≪運動期間：令和５年10月１日～令和６年３月31日≫

令和５年度共同募金総額	655,778,463円 （※令和4年度総額　668,319,492円）
赤 い 羽 根 募 金（10/1～ 3/31）	480,680,328円
歳末たすけあい募金（12/1～12/31）	175,098,135円

令和５年度共同募金助成決定について

令和５年度の共同募金助成について、全道の社会福祉協議会、福祉団体、福祉施設、歳末たすけあい見舞金等の事業を対象に、下記のとおり決定いたしました。

助 成 内 容	助 成 額
子どもからお年寄りまで町の福祉活動のために	384,938,581円
福祉施設や団体、NPO、ボランティアの活動のために	73,684,352円
災害の備えや被災された世帯への支援のために	21,690,000円
支援を必要とする人が安心して暮らすために	175,465,530円

2024年デザインが新登場！

赤い羽根共同募金　募金ピンバッジ

多くの方に「赤い羽根共同募金」へ関心を持っていただくことを目的として、また気軽に寄付にご協力いただけるしくみとして、赤い羽根をデザインした寄付金つきのオリジナルピンバッジを製作しております。

500円以上の募金協力でピンバッジを１個進呈しており、製作費を除いた全額が赤い羽根共同募金へ寄託されます。右記デザインのほか、道内の市町村において、各地域のご当地キャラクターや景勝地等をモチーフにしたオリジナルピンバッジを取り扱っておりますので、お近くの共同募金委員会へお問合せください。

2024年赤い羽根ピンバッジ

アザラシ親子

初音ミク

Art by さんご。© CFM

お問合せ

社会福祉法人　北海道共同募金会

〒060-0002　札幌市中央区北２条西７丁目 かでる2･7 ４階
TEL　011-231-8000／FAX　011-231-8003
ホームページ　https://www.akaihane-hokkaido.jp/

赤い羽根共同募金

赤い羽根　北海道　検索

北海道共同募金会 X（旧 twitter）

営業品目
■広告代理業　■デザイン制作
■オンデマンド印刷　■オフセット印刷
■COPY･製本　■スキャニング
■電子納品　■HP制作
■設計･CAD･建築施工図作成
■OA機器、什器備品、事務用品販売
■看板

北海道社会福祉協議会
賛助会員

欲しい『ヒト』に、欲しい『モノ』を、
欲しい『トキ』に、欲しい『カズ』だけ。

ondemand
ALPHA BUSINESS

すべてがオンデマンド。
株式会社 アルファビジネス
E-mail info@alpha-businesss.co.jp
U R L https://www.alpha-business.co.jp
札幌本社　〒060-0906 札幌市東区北6条東4丁目1-7
de AUNE SAPPORO 3F
TEL (011)741-7998 FAX (011)741-9091
帯広支社　〒080-0312 河東郡音更町南鈴蘭南1丁目1番地2-6-15
東京支社　〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-19-12
印刷工場　〒063-0062 札幌市西区西町南11丁目1-10

Green Power WIND
546000

FUJIFILM
Iridesse Production Press
【CMYK+金+銀+白+クリア】

特定非営利活動法人PEACE&SMILE（Peace&Smile子ども食堂）

子ども若者を中心にした寄り添い合う地域社会作り

孤立や孤独、生活困窮者など広く一般市民に対し、安定した生活環境と他者からの見守りを提供するとともに多様な人々の人権を守り自立に向けた支援を行うことにより、地域社会の生活環境向上に寄与することを目的としています。

●基金を活用した事業

①居住、就労、事務手続きなどの相談支援
②居住支援、食事提供
③子育て、子どもの学習支援、居場所の創出
④広報またネットワークによる連携

●良かった点

すべての事業において相互に孤立孤独の軽減、また、生きがいや有用感、肯定感が高まったこと、助け合いによる他者理解を深め、人生観が変わるなど、それぞれの人権を守ることに繋がった。

特定非営利活動法人 PEACE&SMILE は、函館市において、Peace&Smile 子ども食堂を月に一度の開催を基盤とし、すべての人の人権を守り笑顔で過ごせるように、一緒に手伝う、つながる、つなげる、考える、学ぶことを主体に活動を行っています。利用者は公式 LINE に登録し、配信された情報をもとに Google フォームから申し込みをします。現在の登録者数は361家庭が登録。毎月260食から300食のお弁当をお渡ししています。車の無い方、来ることが出来ない方には宅配を行っています。利用者と支援者の年齢は、0歳から80代と幅広く、それぞれが役割を持っていると感じる多世代交流を行っています。

例えば、妊娠しているママは、開催時、姿を見せてくれるだけで触れあった人たちの心に優しさや喜びを分けてくれます。赤ちゃんは未来への希望や楽しみを与えてくれます。70～80代の利用者や支援者は、日常的にはない関りを持つことから、自分の人生観を振り返ることや生きがいを持つこと、また多世代や多様性への理解を深めることが出来ます。学生はボランティアの体験を通して、社会自立を高めることが出来るなど、それぞれの年代において良い影響をもたらしていると実感しています。また、食支援連携団体やネットワーク、助成団体、提供企業様、一般市民の方から頂く、あたたかい心のこもる支援金や支援品、助け合いによる利用者からの支援品の提供を頂き、それぞれが出来ることを行うことで、社会がつながり、孤立感や孤独感を抱くことなく笑顔がたくさん増えていると感じ、とても嬉しい優しい気持ちになります。このほかに最近は、包括支援センターや個人からの依頼により困窮者への食支援の依頼が増えています。食支援を通じて、不安が軽減し信頼感が生まれ、スムーズにニーズに合わせた支援に取り組むことが出来ていること、心の余裕が生まれ豊かになり生活の質を高めることや意欲の向上を図ることが出来ていると実感しています。

取り組みの中に、ひとり親家庭支援、困窮世帯支援、不登校や発達に課題のある子ども、経済的な理由での学びの困窮への学習支援を別に設け、個別に必要な情報の配信や支援品、学習機会の提供を行っています。この活動により、虐待の防止、見守り強化、困ったら頼っても良い信頼関係、一人で頑張らなくてもいい、助け合って支え合えばいい、そんな関りから笑顔や安心感が育まれていると感じています。この活動を通して未来を担う子どもたちに、自分のできることや得意なことで人に喜んでもらうことが自分の幸せを作ることが出来ること、助け合いや支え合い、日々の当たり前に感謝すること、昔も今もそうやって繋がる社会が成り立っていることを感じる体験や経験にしてもらえたら有難いです。

☆北海道社会福祉総合基金とは☆

昭和48年に民間福祉事業の進展のために設立された北海道社会福祉協議会で管理・運営している基金です。基金の運用益を活用しながら、道内の児童、障がい者、高齢者、地域福祉分野に対する様々な福祉活動を行う団体への助成事業を進めています。

★特定非営利活動法人PEACE&SMILE（Peace＆Smile子ども食堂）★

代表者名：髙橋 修一郎　マネージャー：髙橋 明美
設立年月日：2022年6月10日
（任意団体としては2021年6月発足9月より活動開始）
会員数：30名
連絡先：函館市千代台町23-7　TEL：080-4361-3489

七飯町社会福祉協議会の活動を紹介します（代表者：会長　伊藤 千恵子）

北海道内の179市町村には、各市町村に社会福祉協議会（略称：社協）があり、地域住民の皆様とともに、福祉のまちづくり活動を行っています。今号では、七飯町社協が行っている取り組みについてご紹介します。

七飯町について

七飯町は北海道の南西部に位置し、北海道の表玄関である函館市に隣接しています。駒ヶ岳と大沼湖などを有する大沼国定公園や、横津岳・仁山高原など豊富な自然環境に恵まれ、四季折々の景色が楽しめます。日本初のりんご栽培や酪農、男爵いも発祥の地で農業が盛んです。

七飯町ひきこもり家族交流会の発足

令和６年４月より七飯町社協のフリースペースには毎月４～５人が来所して、ひきこもっている家族についての近況を報告しています。

毎月第１金曜日の10時から開催している家族会では、相談員として以前にひきこもりに関する講演会を開催した際に登壇していただいた、道南ひきこもり家族会の共同代表をしている安藤とし子氏に依頼をしております。また、社協職員と町包括支援センターの社会福祉士、保健師も同席して支援をしております。

令和５年３月よりひきこもり相談会を毎月第３水曜日の午前10時から12時までの間で開催しており、一人で悩んでいるかたの心のよりどころとして活動していました。その中で相談者との会話の中からも家族会を要望する声が多く聞かれてきて家族会を発足する運びとなりました。

現在は七飯町にお住まいの方しか参加しておりませんが、町外の方の参加も受け付けております。また、近隣の家族会が解散したこともあり、今後は参加者の増加が見込まれます。

生活支援コーディネーター

平成30年より開始された生活支援では現在46名の方が支援員として活躍しています。

主な支援内容は通院や買物の外出支援で、社協のリース車両を利用する方と自家用車を利用する方に分かれており、利用されている方からは大変助かっているといった声をいただいております。

生活に不便を感じて利用を希望する方が増えてくる一方で、高齢化などで支援員が減少することが懸念されます。

養育支援ヘルパー事業

令和５年より養育支援が必要であると判断したご家庭に対し、養育支援訪問員が養育に関する指導、助言および傾聴、また、家事・育児援助等を行うことにより、当該家庭の養育の実施を確保することを目的として行っている事業です。現在は利用者も訪問員も多くはありませんので、今後の事業のＰＲと支援員の確保が課題となっております。

この他にも『ボランティアポイント事業』、『地域要援護者支え合い事業』など地域の方を支援する事業をおこなっており、町内約40ヶ所にベンチを設置する『ふれあいベンチ設置事業』も地域の方から高評価を受けております。

七飯社協職員ってどんな人？？

法人運営課と地域福祉推進課のほか、居宅介護事業所、訪問介護事業所、デイサービス、グループホームに合わせて78名の職員がおります。

地域のみなさまに親しまれる〝明るい七飯社協〟を目指して職員一同頑張っております。

●所在地等：〒041-1111　亀田郡七飯町本町4丁目8番地1号
TEL：0138-65-2067　FAX：0138-65-2542　HP：http://www.nanae-shakyo.com/

「しんらい」と「あんしん」をお届けします。
北自共の総合自動車共済・自賠責共済
北海道社会福祉協議会賛助会員
札幌市見守りポスター掲示協力賛助会員
イランカラプテ
「こんにちは」からはじめよう。

1事故1担当者制	1つの事故に対して1人の専任担当者が担当
充実のロードサービス	24時間365日対応・等級に影響なし
安心の事故対応力	事故解決の専門家が素早く対応

自動車共済は
北海道社会福祉協議会を
応援しています！
☎011-721-5233
FAX：011-721-0801
電話の受付時間／平日 9:00～17:15
中小企業と従業員の皆さま、個人事業主さま向けに割安な掛金！
北海道自動車共済協同組合
〒065-0030 札幌市東区北30条東1丁目3-2　https://www.hokujikyo.jp
北自共承認NO.23-008

寄付の受入状況

（令和６年２月１日～令和６年８月31日まで）

たくさんのご支援ありがとうございました。

◎本会へのご寄付をいただきました。

（敬称略）

年　月	寄付者（団体）名	寄　付　先	寄付内容
令和6年2月	東洋羽毛北部販売株式会社	北海道社会福祉総合基金	金　19,368円
令和6年2月～令和6年8月	一般社団法人いいことファーム	北海道社会福祉総合基金	金　354,500円
令和6年2月～令和6年8月	株式会社日本トリム	北海道社会福祉総合基金	金　732,380円
令和6年3月	社團法人台灣社會福利總盟	北海道社会福祉総合基金	金　30,000円
令和6年5月	匿名	北海道社会福祉総合基金	金　350円
令和6年8月	東洋羽毛北部販売株式会社	北海道社会福祉総合基金	金　14,760円

◎社会福祉施設等へのご寄付をいただきました。

（敬称略）

年　月	寄付者（団体）名	寄　付　先	寄付内容
令和6年2月	札幌ユネスコ協会	北海道ボランティア市民活動センター	金　50,000円
令和6年5月	北海道アイスクリーム協会	児童養護施設・養護学校等53か所	アイスクリーム　4,062個
令和6年8月	サンマルコ食品チャリティ会	石狩管内の児童養護施設７か所	金　1,300,000円
令和6年8月	NEC ソリューションイノベータ株式会社	子ども食堂	金　10,866円

授産製品紹介

きらきら☆マルシェ

北海道社会福祉協議会
北海道障がい者就労支援センター

道内の障がいを持った方々が、その人の個性や能力に合わせながら、施設や作業所で、自立生活に向けた作業・訓練の一環として作っている製品をご紹介します。

1 社会福祉法人クピド・フェア 障害福祉サービス事業所 K・P1 ［岩見沢市］

商品名　（すべて税込）

- **真空コーヒーパック**（各種100g）　400～450円
- **北海道ラスク**（10枚入）　400円
- **にんじんラスク**（120g入）　400円
- **かぼちゃラスク**（120g入）　400円
- **龍包餃子**（25個入）　800円
- **行者菜餃子**（25個入）　800円

問い合わせ先

TEL　0126-23-1113
ホームページ　https://www.cupid.or.jp/
社会福祉法人クピド・フェア
障害福祉サービス事業所 K・P1
岩見沢市志文町301番地

障害福祉サービス事業所 K・P1では、北海道産食材にこだわったオリジナル餃子、ラスク製造のほか、遠赤外線焙煎機で生豆をじっくりと豆の内部まで加熱し、丁寧にローストしたコーヒー豆を業務用と小売り用として販売を行なっております。

特に北海道産食材にこだわったオリジナル餃子は、一つ一つ丁寧に成型を行ない、ゼラチンスープと肉汁が口の中に広がり、ジューシーな食感の餃子で、お客様から大変好評を頂いています。また、行者菜餃子に使用している行者菜は北海道内で網走市が唯一の栽培地で、行者ニンニクとニラを交配させた野菜です。ビタミン豊富な栄養価が多く含まれており、臭みも少なく、スタミナ抜群な餃子です。

これらの商品は、当法人内にて販売されているほか、北村温泉の売店、岩見沢 SA（高速）、ラッキーマート幌向店、ラッキー栗山店でも販売されております。また、当事業所に直接ご連絡頂ければ、地方発送もお承りしております。気軽にお問い合わせください。

2 社会福祉法人新生会 障害者支援施設 風連別学 ［初山別村］

商品名　（すべて税込）

- **初山別あいす**（120ml／バニラ、おもち、ハスカップ、カボチャ、トマト）　450円
- **北の漁師小屋 鮭とば**（200g／塩味、みりん味）　1,000円
- **北の漁師小屋 鮭とば**（100g／塩味、みりん味、燻製味）　600円

問い合わせ先

TEL　0164-67-2377
ホームページ　https://city.hokkai.or.jp/~shinsei/
社会福祉法人新生会
障害者支援施設 風連別学園
苫前郡初山別村字明里165-7

風連別学園では、障がいを持った方々の就労を目的とした作業として、「初山別あいす」と「北の漁師小屋鮭とば」を製造販売しています。

自然豊かな初山別村の地域特性を活かした商品は、全て手作りで真心込めて製造しています。

「初山別あいす」は澄んだ空気の中で飼育された栄養豊かな牛のミルクを使用した、濃厚でまろやかな極上のアイスクリームで、地域の特産品でもあるハスカップを使用した「ハスカップアイス」、村内で人気 No.1の「おもちアイス」など全５種類のユニークな味を楽しめます。

「北の漁師小屋　鮭とば」は、早朝に水揚げされた新鮮な鮭をもとに、合成保存料及び着色料を使用せずに天然の風味を活かした味となっています。

シンプルでお酒のお供にぴったりな「塩味」、少し甘めで子どもでも食べやすい「味醂味」、大人の香りと味の「燻製味」の三種類の味を用意しており、村内からは大人気の鮭とばとなっています。

これらの商品は初山別村の「ふるさと納税返礼品」にも採用されているほか、初山別村の道の駅「☆ロマン街道しょさんべつ」にて販売しております。初山別村の恵みを味わえる逸品を是非ご堪能ください。

なお、全国発送も承ります。風連別学園のホームページをご覧ください。

＜ナイスハートネット北海道からお申し込みいただけます＞

北海道社会福祉協議会では、北海道が推進する「障がい者就労支援推進計画」に基づき、企業や団体と授産事業所をマッチングさせ、授産事業所等の商品、役務を広く企業や団体の方にご利用頂くためにホームページを開設しています。今回ご紹介した商品も取り扱っており、ホームページ上で仮申し込みができます。

（ホームページ上では決済できないため、申し込みを一旦道社協において受け付け、事業所へ発注します。）

ホームページアドレス　http://nice-heart-net.jp/　ナイスハートネット　検索　クリック

明るい社会 No.701 2024年度 第1号
■発行／社会福祉法人 北海道社会福祉協議会 〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目1番地 TEL 011・241・3976 FAX 011・251・3971 http://www.dosyakyo.or.jp
■定価／120円（会員90円・一括25円） ■印刷／(株)北海道機関紙印刷所
※『明るい社会』は、赤い羽根共同募金の助成金を受けて作成しています

令和６年度

https://www.fukushihoken.co.jp
ふくしの保険 検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が５類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して２つのプランとします。

保険金額・年間保険料（1名あたり） 団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

保険金の種類 ＼ プラン			基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額		4,000円	
	特定感染症		補償開始日から補償(*)	
	地震・噴火・津波による死傷		×	○
賠償責任の補償	賠償責任保険金（対人・対物共通）		5億円(限度額)	
年間保険料			350円	500円

＊特定感染症についても10日間の免責期間がなくなり、補償開始日から補償対象となります。
なお、令和５年５月８日以降、新型コロナウイルス感染症は補償対象外となりました。

商品パンフレットはコチラから

（ふくしの保険ホームページ）

＜重 要＞

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆中途でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お１人につきいずれかのプラン１口のみとなります。

ボランティア行事用保険（傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険）

送迎サービス補償（傷害保険）

福祉サービス総合補償（傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険（オプション））

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 **全国社会福祉協議会**

〈引受幹事保険会社〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL：03（3349）5137
受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、年末年始を除きます。）
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 **福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL：03（3581）4667
受付時間：平日の 9:30～17:30（土日・祝日、年末年始を除きます。）

〈SJ23-11315より抜粋〉

編集後記

今号では、「農福連携」について特集しました。相互メリットがあるwin-winな関係であるためもっと発展していければと考えます。